


■ 石油ストーブ使用時のご注意

- ・ 点火前： 燃焼筒が正しくセットされているかご確認ください
- ・ 点火後： 正しい炎の状態になっているか確認してください



目印にあわせる

燃焼筒




燃焼筒のすわりを確認する

- 燃焼筒トッテを持って、左右に2～3回動かし、目印に合わせて正面になるようにセットしてください。
- しん案内筒に正しくすわっているか確かめてください。

点火後、必ず炎の調節をしてください。

- 炎の調節は、しん調節つまみでおこないます。
- 部分的な炎の伸びや赤熱ムラがでるときは燃焼筒トッテを左右に「2～3回」動かし、炎を安定させてください。
- 燃焼筒を動かしても炎が伸びるときは、しん調節つまみを少し上げて「炎の状態の目安」の範囲で調節してください。

炎の状態の目安

| | |
|---|--|
| × | <p>(イ) しんの下げすぎ (燃焼筒全体が赤熱していない状態)</p> <p>しんを下げすぎた状態で使うと、不完全燃焼し、においや一酸化炭素の発生の原因になります。機器を傷めることにもなります。</p>  |
| ○ | <p>(ロ) 正しい炎</p> <p>燃焼筒上の炎の長さは約1～3cmの範囲でご使用ください。</p> <p style="text-align: right;">炎の長さが1～3cm</p>  |
| × | <p>(ハ) しんの上げすぎ</p> <p>赤火やすずの原因になり機器を傷めることにもなります。</p>  |

- 点火後3分程で燃焼筒が徐々に赤熱します。
- 5分程で燃焼筒全体が赤熱します。
- 点火2～3分後、炎が立ち上がってきた時、燃焼筒トッテを持って燃焼筒を左右に2～3回動かし、炎が早く安定します。
- 炎が安定したら、しん調節つまみを上下して、正しい炎の状態に調節してください。

